



第 4 1 号  
2014 年 10 月 22 日



埼玉県合唱連盟  
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13  
(朝日新聞さいたま総局内)  
TEL 048-824-8161  
FAX 048-831-5310  
<http://saicl.net/>

## 埼玉県合唱連盟に期待する

—全日本合唱連盟岸信介新理事長に聞く—

本年5月、埼玉県とゆかりの深い岸信介先生が、全日本合唱連盟の理事長に就任されました。そこで先生に、埼玉県とのかかわりや県連への思いなどを伺いました。

(聞き手：新祖副理事長)

### 全日本合唱連盟の理事長就任への抱負

新祖：この度は全日本合唱連盟の理事長へのご就任、おめでとうございます。まず抱負をお聞かせください。

岸：僕が全日本にかかわるようになってだいぶ経ちますが、最初の頃の連盟加盟人口は15万人くらい。今は13万人前後。もちろん少子化とか高齢化の問題はありますが、ここらへんでなんとか合唱人口の増加を考えたいというのが一つ。それから先日世界合唱シンポジウムでソウルへ行ってきたんだけど、今まで西洋音楽など向こうの音楽を吸収して合唱を勉強してきたんだけど、そろそろアジア、日本から世界へ合唱音楽を発信していく時期が来ているのではないかと、グローバルに展開していくことを何か考えていきたいと思っています。



### 埼玉県とのかかわりについて

新祖：理事長は以前にも「パウゼ」のタクトにご執筆いただいたことがあり、埼玉県とは非常に縁が深いと聞いていますが、連盟の会員の皆さんに先生と埼玉県とのかかわりをお話いただけますか。

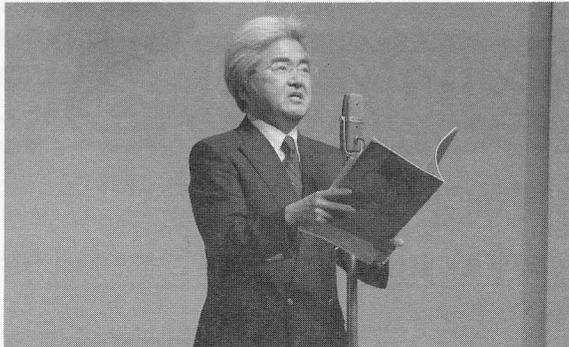
岸：僕はもともと埼玉県生まれで、県立浦和西高に通っていたわけで。もともとはバレー部でしたが音楽部の渋谷貞三先生（埼玉県合唱連盟元副理事長）にNHKコンクールで人が足りない、手伝いに来てと言われたのが合唱にかかわったきっかけです。テノールを歌ってね。その頃、尾花勇先生（埼玉県合唱連盟初代理事長）の浦和一女、牧野統先生（埼玉県合唱連盟元副理事長）の川越高校、で浦和西高が渋谷貞三先生。3人芸大の師範で一緒だった同期生。いいライバルでした。そんな中、浦和混声が創立されて、浦和混声にも学生服を着ながら歌いに行っていて、そんなわけで浦混に御縁があって棒を振って40年近くなるんですね。浦和女声、蕨女声などおかさコーラスにも御縁があって浦和まで通ってきています。東京から浦和まで遠いのによく行きますね、と言われますが、全然遠さはないし、故郷に帰ってくるわけで。そういう面では今でも埼玉県の人間だと思っていますから。県連もそのころから尾花先生、渋谷先生、それから僕の声楽の先生である金子先生ね。いろいろな方が携わっておられたし、合唱はほんとうに埼玉県に育てられたなど。



第 59 回

# 埼玉県合唱祭

2014年6月7日(土)・8日(日) 埼玉会館  
14日(土)・15日(日) さいたま市文化センター  
22日(日) 熊谷文化創造館 (さくらめいと)



平成26年6月7日～22日の延べ5日間にわたって、今年も埼玉県合唱祭が開催されました。255団体、6,251名のご参加をいただき、盛大に幕を閉じることができました。

今年は昨年までの反省を生かし、様々な面で大改革を施しました。第一に各日とも二部制であった構成を三部制に切り替えました。これにより出演者の拘束時間が減り、昼食も無理なく摂れるようになりました。概ね好評でしたが、空席が目立ち、集客の対策が来年度への課題となりました。



第二に各団体の演奏時間をこれまでの8分から7分30秒に短縮しました。多くの団体が参加できるようにするつもりでしたが、戸惑われる団体もいくつかあり、次年度に向けてこの制度をご理解いただくべく、周知徹底せねばと反省しております。

第三に講評講師の先生方を全日本指揮者協会にお願い致しました。初めてお越しいただいた先生方から今までにはなかった新しい方向性を示していただき、各団ともこれからの練習に向けた大きな励みとなりました。この紙面をお借りし、諸先生方に心より感謝申し上げます。



第四にハワイエにて模擬店のブースを設けました。合唱用楽譜の販売、そして知的障害の方々の手作り作品の販売です。楽譜は今回の合唱祭で演奏されている曲目の掲載された曲集を中心に、売れ筋の何点かを並べました。知的障害者の方々の作品はストラップや手織りのスカーフ、ビーズの小物等、心温まるものばかりで、どのブースも休憩時間などにはたくさんの方々が賑わいました。「合唱祭」の名にふさわしく、ホール内外で盛り上がりました。



以上の改革に伴い、各所で昨年にはなかった動きが生まれましたが、出演者の皆様の深いご理解とご協力により、無事に終了することが出来ました。来年度は今年度の反省を踏まえ、さらに改善できるよう、努力を重ねてまいります。次回の埼玉県合唱祭にご期待ください。

(常務理事 小島 嘉子)

撮影：スタッフ・テス(株)・埼玉県合唱連盟

## 埼玉県立川越西高等学校 合唱部

2年 酒井 美優

昨年から埼玉県合唱連盟に加盟し、今年の合唱祭に初めて出演できたことをとても嬉しく思っています。

私たちは5年前、同好会からスタートしたまだ歴史の浅い部活動です。その後、部昇格、埼玉県合唱連盟加入と、少人数ながらも仲間と共に少しずつ歩んできました。今回の合唱祭でも普段通りチームワークを発揮し、楽しく歌うことができました。

私たちは「鷗」と「雨のちハレルヤ」の2曲をそれぞれの魅力を引き出せるように心掛けて演奏しました。

「鷗」は美しい響きになるように、ハーモニーを重点的に練習し、「雨のちハレルヤ」は、「鷗」とは雰囲気異なるので、その対照的な部分をはっきりと出せるようにしました。どちらも歌うことの楽しさと、歌詞の意味が客席に伝わるよう工夫しました。

今回の合唱祭は、新入部員を迎えて最初の大きな演奏となりましたが、新入部員にとっても私たちにとっても、大変良い経験になり、私たちの成長の大きな糧となりました。ありがとうございました。



## 上尾児童合唱団

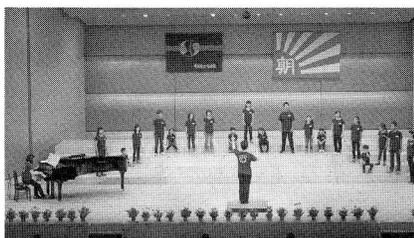
指揮者 森田 悠介

みなさま初めまして。上尾児童合唱団（「Ageo Children Choir」を略してACCと呼んでいます）は2013年7月に上尾市内のスタジオを中心に活動を始めた、できたてほやほやの合唱団です♪年齢や地域の垣根を越えて、5歳から17歳までの19人のメンバーで活動しています。

合唱祭のような大きな舞台に立たせていただくのは、今回が2度目で、普段はおそろしいほどに（笑）パワフルでエネルギッシュな子どもたちも、さすがに緊張を隠せない様子でした。大きなステージをどれくらい鮮やかにイメージできるか、ということを日頃から意識して練習を重ねてきましたが、やはり埼玉県全体のイベントというのは想像以上に憧れの、キラキラしたステージだったようです。

そんなカチンコチンの舞台でしたが、ソロの部分があったり、年中から小学校1年生までの「ジュニアクラス」のメンバーだけで歌ったり、舞台を大きく使ってフォーメーションを変えながら歌ったりと、本当に精一杯自分たちのパフォーマンスができた、とても貴重な体験となりました。

こんな素敵な合唱祭を支えてくださっているたくさんの方々から心から感謝しながら、活動に励んでいこうと思います。これからもACCをどうぞよろしくおねがいいたします。



## ながのフラウエンコール

副部長 嶋田 桂子

私どもの合唱団は、今年35周年を迎え毎年埼玉県の合唱祭に参加させていただいています。それぞれの団体の演奏を聴くことで、合唱の良さや素晴しさを感じとり、また日頃の自分達の練習の成果を発表する場として、合唱祭に参加することを楽しみにしています。

今年は、高田三郎女声合唱曲集（音楽之友社）から、「啄木短歌集」より「やわらかに・病のごと・はずれまで・不來方の・あめつちに」の5曲を演奏しました。短歌は、五七五七七という短い言葉の中にいろいろな思いや情景が込められています。まず短歌の解説を調べ、啄木の思いを心に描いて歌えるように練習を行いました。啄木が青春時代を過ごした盛岡市や北上川が舞台となる短歌ですが、穏やかな曲調を保ちつつ、ピアノやピアノッシモの部分を客席にきっちり響かせ、石川啄木の世界観を丁寧に歌うように心がけました。5曲とも歌い出しがアウフタクトになっており、しっかりお腹で支えて歌うのですが、1曲目、2曲目とやや緊張してしまっていたようでした。演奏が進むにつれ、やっと本来の合唱ができたような感じがしました。やはり大勢の皆様からの拍手は、大変うれしいものがありました。これからも仲間との交流を楽しみながら、元気に練習に励み、来年の合唱祭に参加できるよう、日々の練習を頑張ります。



撮影：スタッフ・テス(株)

# SAITAMAコーラスワークショップ2014

(第30回 埼玉県合唱講習会)

2014年5月11日(日) 於：和光市民文化センター

平成26年5月11日、和光市民文化センターでSAITAMAコーラスワークショップ2014が行われました。受講者は443名に上り、とても充実した一日となりました。

講座Aでは、平成26年度NHK全国学校音楽コンクール中学校の部課題曲「桜の季節」同声合唱版を、希望する中学生がステージに上り、藤井宏樹先生からご指導をいただきました。各中学校の先生方や、普段混声版で練習している中学生も客席で聴講し、盛会となりました。藤井先生には、講座Eでも全日本合唱コンクール課題曲G2について、合唱団あべ犬東をモデル合唱団としてご指導いただきました。藤井先生のご指導により、ドイツ語の作品が短時間でどんどん素晴らしいものになってゆくのを感じられました。

講座B・Dでは、須藤礼子先生に、全日本合唱コンクール課題曲F3・F4についてご指導いただきました。モデル合唱団は女声合唱団La Mer、浦和第



講座A



講座B



講座B



講座E

一女子高等学校音楽部で、それぞれ須藤先生からご指導を受けました。共に女声の日本語作品ですが、言葉・発声・詩の内容など様々な角度から丁寧にご指導いただきました。

講座Cは「Let's enjoy the performance!」と題し、「私のお気に入り」「星に願いを」を歌いながら身体を動かし、振りをつけるという、新しい内容の講座を企画しました。劇作家・演出家の山下裕士先生と振付師の打越麗子先生の丁寧なご指導により、成果発表会には見事なパフォーマンスが披露されました。

講座Fは「新曲をみんなで歌おう!」と銘打って若松敏先生の作品を、ご自身から指導いただき、たくさんの曲を歌い勉強しました。講習が終わった後の、受講者のみなさんの満ち足りた表情がとても印象的でした。

来年度は更に工夫を加えた講習にしていきたいと思います!  
どうぞお楽しみに! (常務理事 小松 直詩)

## SAITAMAコーラスワークショップ2014

### ～参加された方の感想～

若者達の中で不安一杯でしたが、山下先生の話術や打越先生の動きに魅了されて（冷）汗を流しているうち、楽しく時間が経ってしまいました。成果発表の場もあり、満足感ある講座に参加できたと感謝しています。

コールしらおか 松澤 和子



講座C 初めての試み、振付講習の様子、成果発表



講座F 「新曲をみんなで歌おう！」の様子

今回のワークショップでは、私達がよく歌わせてもらっている「君とみた海」や「この地球のどこかで」を作曲した若松敏先生の講習を受けさせていただくことになり、とても楽しみにしていました。先生の作曲された曲、歌はどのメロディーも美しく盛り上がる部分が特に大好きです。また、先生御自身で作詞をされているということもあり「合唱曲とは語ることが大切だ」と教わりました。確かにテンポの違いや言葉を生かした表現をすることによって聴き手への伝わり方も変わり、曲の一つ一つの言葉が生きてきました。私はこの講習会に参加してとても良い勉強になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

所沢市立上山口中学校合唱部 松田 典子

## 第 25 回

# 関東おとうさんコーラス大会 in かわぐちこ

2014年7月27日(日) 山梨県/河口湖ステラシアター

### 関東おとうさんコーラス大会応援記

埼玉第九合唱団 小笠原 記公子

我が「埼玉第九合唱団」の男声コーラスグループ「グリーンナインズ」にとって近年は専ら秩父で行われる「男声コーラスフェスティバル」に参加していたので、今回は6年ぶりの「関東おとうさんコーラス大会」への参加となり、私たち女性サポーターもこの日を楽しみにしていました。

第一部で、「グリーンナインズ」は10番目の登場。メンバー17名と例年に比べやや少ないものの、ベーターヴェンをデザインしたブルーのユニホームが鮮やかです。

「フレフレー、グリーンナインズ!!、フレフレ、グリーンナインズ!!」

前の男性がギョッとして振り向いたが気にしない。みんなで声の限りに声援を送りました。そのかいあったか？練習では不安定だったハーモニーも本番では見事に決まり、「とじた眼に」「秋のピエロ」の2曲で清水脩の世界を美しく表現し、女性応援団はホッと胸をなでおろしました。

第二部ではステージの後ろの扉を開き、富士の雄姿をバックに「富士山」「月光とピエロ」「柳川」を重厚なハーモニーで全員合唱。いつでもどこでもアカペラで歌える男声合唱を心から羨ましいと感じました。

帰りのバスでは、ほろ酔い気分で「埼玉の合唱レベルもなかなかのもの」と自画自賛しながら皆大満足で帰路につきました。

運営に当たられた連盟の皆さま、お世話になりました。ありがとうございました。



## 第 57 回

## 埼玉県合唱コンクール

2014年8月23日(土) 大学職場一般部門(大学コース)・高等学校部門

24日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)

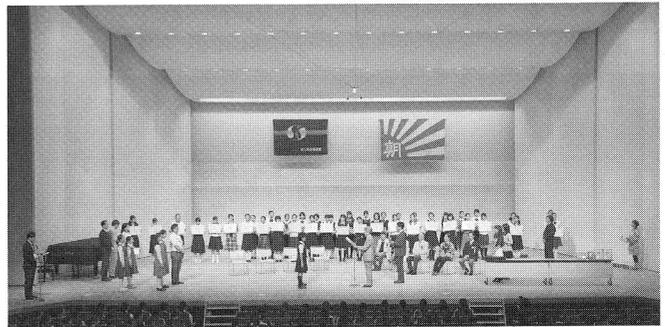
31日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(室内・同声・混声)

於：さいたま市文化センター

多くの団体にご参加いただく中、無事コンクールが終わりました。今年も3日間にわたり日頃の成果が存分に発揮された熱演が続く、大変レベルの高いコンクールとなりました。ご参加頂いた皆様に心より拍手を送らせていただきます。

ただ、ステージ上では熱演が続いた反面、客席でのマナー違反などが多く見受けられ、来年度に向けてより一層のご協力を求めなければならない状況があります。

1つは、今年も演奏中の写真・ビデオ撮影が見受けられました。特にいくつかの団体については、客席で演奏直前に多くの「音」(録音か録画のスタート音かと思われます)が聞こえ、演奏が終わるとまた同様の音が聞こえるような状況が見られました。打ち合わせ会の時に、団体の代表の方にはお願いを



しているところですが、このような状況が広がれば、コンクールそのものの運営に大きな支障をきたしますので、ぜひ来年はこのようなことがないよう、徹底をお願いいたします(特に学校関係などの保護者の皆様へお話しください)。

また、演奏中に話し声がかなり聞かれた部門もありました(特に小学校、中学校混声部門)。

コンクールですから、演奏に集中できる場をお互い作り合うことがなにより大切ですので、連盟側でも一層のマナー徹底を図るつもりでおりますが、ご来場される皆様にも参加団体からお話をいただければと思います。

また来年も、多くの団体のご参加をお待ち申し上げます。  
(常務理事 國弘 雅也)

撮影：スタッフ・テス(株)

## 第57回 埼玉県合唱コンクール審査結果

平成26年8月23日(土) 大学職場一般部門(大学ユース)・高等学校部門  
 24日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)  
 31日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(室内・同声・混声)  
 於:さいたま市文化センター

### ★高等学校部門

- 【金賞】県立川越高校音楽部(知事賞)、松山女子高校音楽部(教育長賞)、伊奈学園総合高校音楽部(文団連賞)、川越女子高校音楽部、大宮高校音楽部、浦和第一女子高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ、熊谷女子高校音楽部、久喜高校音楽部
- 【銀賞】熊谷高校音楽部、慶應志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団、栄東高校コーラス部、芸術総合高校合唱部、春日部女子高校音楽部、小松原高校音楽部、大宮光陵高校合唱団、不動岡高校音楽部、小松原学園混声合唱団、秩父高校音楽部
- 【銅賞】春日部高校音楽部、所沢北高校音楽部、上尾南高校音楽部、埼玉栄高校コーラス部、坂戸西高校音楽部、小川高校音楽部、川越西高校合唱部、蕨高校音楽部、川口北高校コーラス部
- 【優良賞】栄北高校コーラス部(奨励賞)、秋草学園高校音楽部、さいたま市立浦和南高校音楽部、川越南高校音楽部、浦和学院高校コーラス部、寄居城北高校コーラス部、秩父農工科学高校コーラス部、新座総合技術高校コーラス部、春日部共栄中学高校合唱部
- 【シード】松伏高校合唱部、星野高校音楽部

### ★小学校部門

- 【金賞】上尾市立上尾小学校合唱団、川口市立並木小学校白百合合唱団
- 【銀賞】さいたま市立海老沼小学校合唱部、上尾市立東小学校東っ子合唱団、富士見市立鶴瀬小学校合唱部

### ★中学校部門(混声合唱の部)

- 【金賞】春日部市立武里中学校合唱部(知事賞)、所沢市立南陵中学校合唱団(教育長賞)、さいたま市立宮原中学校合唱部(文団連賞)、所沢市立三ヶ島中学校合唱団
- 【銀賞】所沢市立所沢中学校、所沢市立上山口中学校合唱団、春日部市立豊春中学校混声合唱団、川越市立大東西中学校合唱団、蓮田市立蓮田中学校合唱団
- 【銅賞】小鹿野町立小鹿野中学校音楽部、川越市立初雁中学校合唱団、久喜市立栗橋西中学校有志合唱団
- 【優良賞】松伏町立松伏中学校3年有志合唱団(奨励賞)、上尾市立太平中学校有志合唱団、加須市立加須西中学校合唱団、ふじみ野市立葦原中学校ムジーククライス

### ★中学校部門(同声合唱の部)

- 【金賞】所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部(教育長賞)、川口市立南中学校(文団連賞)、ふじみ野市立大井中学校音楽部、栄東中学校コーラス部、秩父市立秩父第一中学校コーラス部、所沢市立向陽中学校コーラス部
- 【銀賞】春日部市立春日部中学校合唱部、伊奈町立小針中学校合唱部、さいたま市立城南中学校合唱団、川口市立西中学校音楽部、蕨市立第一中学校音楽部、川口市立青木中学校コーラス部
- 【銅賞】秩父市立秩父第二中学校合唱部、熊谷市立富士見中学校音楽部、熊谷市立大原中学校合唱部、熊谷市立熊谷東中学校合唱部、深谷市立上柴中学校音楽部、行田市立南河原中学校合唱部、さいたま市立宮前中学校合唱部
- 【優良賞】宮代町立須賀中学校合唱部(奨励賞)、久喜市立久喜中学校合唱部、秩父市立影森中学校コーラス部、行田市立見沼中学校合唱部、日高市立高根中学校有志合唱団、加須市立昭和中学校音楽部

### ★彩の国部門

- 【金賞】混声合唱団 獅子(理事長賞)、春日部ジュニアコーラス(彩の国特別賞)、川口市立川口総合高校音楽部(彩の国特別賞)
- 【銀賞】ちちぶ女声合唱団クラングファルベ、みどりの子合唱団、大宮コール・ヴァイオレット、埼玉大学合唱団、Wings Jr.、大宮開成中学・高校コーラス部、久喜北陽高校コーラス部
- 【銅賞】川口市立県陽高校音楽部、大妻嵐山中学校高校コーラス部、やまとなでしこ、ancora!
- 【優良賞】日々輝学園高校合唱団、鳩ヶ谷高校合唱同好会、アンサンブル・ソアーヴェ、滑川総合高校Chorus Society、東松山市立東中学校コーラス部、浦和実業学園高校合唱部

### ★大学職場一般部門(大学ユース合唱の部)

- 【金賞】彩の国コンソーシアム合唱団 KIRARA ☆ Mixed
- 【銀賞】文教大学合唱団コールリンデ

### ★大学職場一般部門(室内合唱の部)

- 【金賞】Utabonne(文団連賞)、Paradise Relax、クール・ヴァン・ヴェール
- 【銀賞】女声合唱団きりり、Chor Kraut
- 【銅賞】コール・マーガレット、T-Croce
- 【優良賞】コール・ドルチェ(奨励賞)、浦和ブルーコーラス
- 【シード】合唱団「あべ犬東」

### ★大学職場一般部門(同声合唱の部)

- 【金賞】La Mer(教育長賞)、Il Campanile
- 【銀賞】所沢フィーニッシュ少年少女合唱団、益楽男グリークラブ、女声合唱団 悠はるか

### ★大学職場一般部門(混声合唱の部)

- 【金賞】scatola di voce(知事賞)、MI 混声合唱団・西武学園文理高校合唱部、Wings
- 【銀賞】浦和混声合唱団、混声合唱団 川越牧声会

全日本理事長賞 scatola di voce

※下線の団体は関東支部大会への代表  
 ※優良賞は出演順に記載

# Tact vol.18



指揮者 園田 圭一

## 合唱に携わって

私の合唱との出会いは小学校4年生。新しくできた校歌を披露するための合唱メンバーに選ばれたことが始まりでした。そして中学校でも合唱を楽しんで、「高校でも」と思って入学したら音楽部は女声合唱！

…これはショックでしたねえ。

でも、幸いにも恩師の田尻明規先生に声をかけていただき、2年生のときに混声合唱になった音楽部に男声の第1期として入れていただきました。

以来、ずっと合唱に関わり、高校卒業後から指揮もするようになって今に至ります。

私が今関わっている合唱団には、少年少女合唱団の6歳の団員からシニア合唱団の86歳の団員まで幅広い年齢層の人たちがいます。また、それぞれの合唱団の求める音楽も、感性を研ぎ澄まして音楽表現を極めることを目標にする合唱団もあれば、音程を正しくとれない人がいてもそれを容認して歌を楽しむことに重きを置く合唱団もあります。私はそのどれもがそれぞれの団の個性だと思っています。それぞれの合唱団や団員が他の団の方向性を否定するのではなく、それぞれの個性として認め合うことで合唱の世界が大きく広がっていく。そういう方向を目指したいですね。

☆

☆

☆

☆

☆

幅広い年齢層の人たちが様々なジャンルの音楽をそれぞれの好みのスタイルで楽しめる。それが合唱の良い所です。ですから私は高校生達に、「高校で合唱を終わらせずに卒業後もずっと合唱を楽しんで欲しい。」と言い続けてきました。そしてその楽しさを実感してもらうために大人の合唱団との触れ合いの機会をたくさん設けてきました。

ジュニア、ユース、成人の女声・男声・混声・そしてシニア合唱やオペラ合唱に特化した合唱団まで、様々な個性の合唱団と出会うたびに私自身の音楽世界も広がっていくを感じています。そしてこれからも個性豊かな合唱団と一緒に音楽を楽しんでいきたいと思っています。

## 第37回

# 全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2014年7月5日(土)・6日(日) 於：千葉県／習志野文化ホール

### 【選考結果】

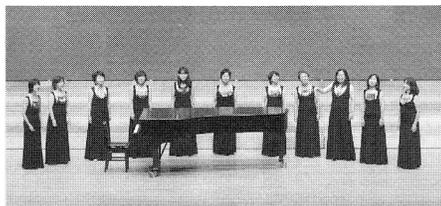
#### 第1日目

女声合唱団「彩花」	大会賞
コーロ・フォンターナ	大会賞
mellowコーロ	優秀賞
ポモドーロ	優良賞
レ・コンソグラ	大会賞
ルシナス	優秀賞
ゆうかり女声合唱団	大会賞

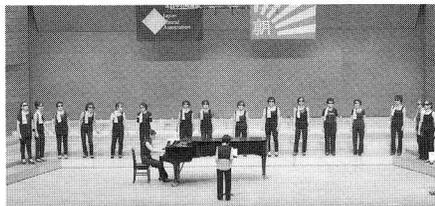
#### 第2日目

浦和女声合唱団	優秀賞
ヴォーチェ・ピアンカ	優良賞
紫苑の会	大会賞
霽の会	大会賞
三郷ジョイコーロ	大会賞
コーロ・リラ	大会賞

下線の団体は全国大会への代表



優秀賞 ルシナス



優良賞 ポモドーロ



優良賞 ヴォーチェ・ピアンカ

撮影：スタッフ・テス様

## 第 37 回

**全日本おかあさんコーラス全国大会**

2014年8月23日(土)・24日(日) 於：新潟県／りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

**第37回全日本おかあさんコーラス全国大会に出演して…**

## mellowコール

団員 市村 弘子

広島での土砂災害に心を痛めつつ今回の新潟大会に臨みました。多くの同じ道を歩むお母さん方の歌声を聴き、その表現に様々な想いの二日間でした。

中には工夫を凝らしたパフォーマンスもあり、お母さんパワーの無限の可能性さえ感じられました。私達団員の多くは5年前の松山大会に初出演し「ひまわり賞」という大きな評価をいただき、その後の取り組みにも少しずつ変化がありました。それぞれ歌に込められた想いをどの様に伝えるか、日頃から感性を磨き、その中でお互いの協調性も要求され、歌うことの楽しさとは別に多くの努力もあったであろうことも想像出来、それだけにこのような大舞台での貴重な体験はすべてが喜びに変わり大きな心の収穫ともなりました。岸先生のお言葉にあった「合唱は健康と美容に有効」ということが真実であるとしたら、女性にとってこれ程スバラシイことはありません。

世界に類を見ない日本文化の一つ「おかあさんコーラス」を大切に育てていくことに少しだけでも参加できたとしたら更に嬉しいです。又開催地新潟の温かな人々に支えられていたことは何より心強く思いました。

心からの感謝でいっぱいです。



## 浦和女声合唱団

役員 渡辺 尚代

埼玉県大会での『あげます』（谷川俊太郎作詩・高嶋みどり作曲）初演等で、今回初のルール「選考団体は抽選をせずに関東大会出場！」という幸運をきっかけに、思いがけず新潟での全国大会出演となりました。スタッフの皆様的心温まる行き届いた対応や、可愛いトキ（もちろん着ぐるみ）のお出迎えに緊張もほぐれ、皆で歌える喜びと感謝を胸に、心一つにして歌うことができました。会場は熱気に包まれ、素晴らしい演奏に時の経つのも忘れるほどでした。若い方のステージいっぱいのパフォーマンス、少しも乱れぬハーモニー、リズム感に、5年振りに参加した私たちは大変驚きました。また、素敵にお年を重ねられた方々の団は、人生経験の深みや温かさが合唱にもあらわれているようで、あのようななれたらと思いました。そしてとても嬉しい事がございました。それは故郷にお戻りになるために辞められた団員が長崎代表で出演され、再会できたのです。全国大会に参加させていただけたお陰と皆で喜びました。小さな幼稚園の10人程の団のためにお越しくくださった岸先生との御縁が40年余りも続き、今があることに感謝し、50名の仲間と出会えた幸せをこれからも大切にしたいと思います。



撮影：スタッフ・テス株

(1面の続き)

### 埼玉県合唱連盟に期待すること

新祖：埼玉県は全国的にも加盟団体数が多いという自覚もありますし、いろいろな試みをしてきていますが、全日本の理事長になられて埼玉県合唱連盟にどんなことを期待されますか。

岸：埼玉はおとうさんコーラスも積極的に始めたり、いろいろやられているのはすごいと思います。大所帯なんだけど特に中学・高校のレベルが高い。これからはどちらかというジュニア・ユースに全日本でも力を入れていかなければいけないところです。同じ世代だけでなく、大人と子供と一緒に何か交流して盛り上げていくようなことができればいいと思います。



コンクールも彩の国部門とか、形を変えていろいろな人々を参加させて合唱を盛り上げて、これは埼玉県独自でね、すごく良いと思う。合唱祭のあり方もそうだけど、例えば作曲家のコーナーを設けて、そこはその作曲家が講師に入ってその作品だけ集めて行くとか、なんかもうちょっと枠を広げて考えたりしてもいいのかなと思ったりしますね。

おとうさんコーラスも今は全国へ反映していますから先見の明があったなと思うし、おかあさんコーラスにしても県大会で参加団体が一番多いでしょ？今、県でそれだけやっているのはすごいことで、そういった意味では合唱の県と。福島やなんかも行っているけど埼玉も負けていないし、さらに輪を広げるという意味で年齢なんか関係なく、合同合唱やったり大人と学生の交流だったりできていったらいいですね。

すそ野を広げるという意味では、指導者派遣事業も地道にやって成果が出ていると思います。

こうした活動を全国に広げていきたいですね。埼玉には是非その牽引車となってほしいと期待しています。

(終)

## それぞれの周年記念



**15周年**

**RK放送合唱団**

鈴木 かおり

**RK放送合唱団**

**この15年を振り返って…**

• 15歳年をとった（当り前） • 独身男子  
女子が次々にゴールイン（残っている人も

若干います） • 毎年11月に演奏会開催（オーケストラと共演5回） • 音取り練習を全パートまとめてやるようになった（最初からだっか） • 音取り練習が年々減っている（ような気がする） • 音取り練習が年々厳しくなっている（ような気もする） • そのおかげで初見に強くなった（気のせいかも） • そのおかげで他パートをよく聴くようになった（はず） • ソプラノは年々声に磨きがかかった（ボイトレ効果） • アルトは年々安定感が増した（高齢化のためではない） • テノールは年々練習に来ないのに本番に強い（ずるい） • ベースは年々団結力が増している（たぶん） • 金井先生が年をとるにつれパワーアップしている（間違いない） • 合唱団も年々パワーアップしている（これが言いたい） • 11月3日（祝）PM2：00よりさいたま市文化センター大ホールにて創立15周年記念演奏会を開催いたします。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

**30周年****Il Campanile**

石原光昭

**30年への感謝と新たな一歩**

に倒れ、昨年11月に帰らぬ人となってしまいました。皆の心に大きな穴が開きました。

しかし、ここで立ち止まっていたは、これまで僕達を導いてくれた小高先生に面目が立ちません。牧野美紀子先生を新たな指揮者にお迎えし、小高先生追悼ステージを加え、チャーミングでエネルギッシュな牧野先生のもと密度の高い練習をこなして今年6月の演奏会の日を迎えました。

30周年記念演奏会は多数のお客様にご来場いただき、笑いあり・涙ありの充実したステージができました。イルカンの30周年は、小高先生への感謝を心に刻みつつ、牧野先生と新たな一歩を踏み出す、そんな年になりました。



## ※※※※それぞれの周年記念※※※※

**40周年****双葉台幼稚園コーラス部**

顧問 田中一枝

**40周年を迎えて**

埼玉県合唱連盟の先生方には、大変お世話になっております。

双葉台幼稚園コーラス部は、今年40周年を迎えました。幼稚園の開園とほぼ同時に、父母の会から誕生いたしました。当時の理事長が、

保育の他に父母の会の活動にも力を注ぎ、テニス部、バレー部、他に音楽教室など幼稚園はいつも活気に満ちておりました。時代の流れとともに、現在では卒園生のサッカークラブなど、活動しております。

田中清恵先生には発足以来、情熱的にご指導いただき、合唱祭にはさまざまなジャンルの曲を演奏してきました。第2回おかあさんコーラス関東支部大会や、NHKうらわFM放送収録に、他の団体の方々と出演させていただいたこともよき思い出となっております。

発足まもない頃、幼稚園のおゆうぎ会に招待され、衣装も間に合わず全員黒のセーターに黒のロングスカートで出演しましたが、バックの幕が黒でしたので、記念の舞台写真は異様なものになりました。

40年の歴史の中には、数多くの思い出がありますが、私達はその歴史を一日でも長く積み重ねていくことと、今改めて心に念じております。

# ♪ 私たちの場所

# Stage

## 熊谷市立熊谷東中学校合唱部

顧問 木下八重香

こんにちは、熊谷東中学校合唱部です。現在13名の部員たちと活動しています。夏のコンクールと冬のヴォーカルアンサンブルコンテストに毎年出場し、昨年よりも成長した演奏ができるようにと、響きのある歌声づくりや、曲にこめられた思いや持ち味をつかんだ演奏を心がけて、日々の練習に取り組んでいます。コンクールという大きな目標に向けて、個性たっぷりの部員たちが団結し、お互いを認め合い、自分たちの歌声に時に感動しながら曲を仕上げていく様子は、夏の暑さや冬の寒さも吹き飛ばしてくれるほどの喜びを感じさせてくれます。冬のヴォーカルアンサンブルコンテストに向けて、さらに成長した演奏ができるよう励んでいきたいと思っています。

## 東京国際大学 混声合唱団 cielo

団長 高橋安成

私たちcielo（シエロ）は、少人数ながらも毎週月、火、金曜の講義終了後、16：40から20：00まで毎回楽しく活動しています。cielo（シエロ）の由来は、スペイン語で「大空」という意味で、どこまでも羽ばたいてほしいという願いを込めて付けました。主な活動内容は、青少年音楽祭、新入生向けのデモ演奏、埼玉県合唱祭、文化祭、定期演奏会などです。常任指揮者に富田邦明先生をお迎えし、合唱の技術はもちろん、人との繋がりを大切にしなければ上手くいかない事を教わり、技術的にも人間的にもご指導いただいています。また、夏になると練習量が週4回に増加し、現在は定期演奏会に向けて練習しています。学業と部活動の両立は大変ですが、日々頑張っています。

## 女声合唱団 きらり

代表 間中千鶴

女声合唱団悠はるかの演奏会への参加がきっかけとなり、結成して5年が経ちました。ご指導をしてくださる宮寺勇先生は、とてもお話上手で、月2回の練習はいつも笑いに包まれています。アカペラを中心に、合唱祭やコンクール、岩槻コミュニティセンターの「コミセンまつり」を目標に、月2回の練習を重ねています。今年の11月16日は、女声合唱団悠はるかとの「第2回ジョイントコンサート」が彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールにて開催されます。第1部は悠、第2部はきらり、第3部は合同ステージとなっています。皆様のご来場をお待ちしています！

これからも、声を合わせる楽しみを味わい、歌う喜びを感じながら、目標に向かって頑張ります♪

## お知らせ

埼玉県合唱連盟の理事でもある  
朝日新聞さいたま総局の総局長が  
9/24付で交代されました。

新総局長  
各務 滋 (かがみ しげる)

## 編集後記

埼玉はコンクール参加数だけを見ても中学、高校は他県より群を抜いていますが、実は、一般のコンクールや、おかあさんコーラス大会も関東では群を抜いた参加数なんです。おかあさんコーラス大会などは全国トップクラスの参加数。近年質も向上しています。学生を盛り上げることは大切ですが、卒業しても合唱を続けられる環境づくりも大切です。最近だれでも参加できる、多国籍合唱団が目立ち始めレベルも上がってきました。これからの埼玉、おもしろくなってきました。(常務理事 蓮沼 喜文)



いつか、その街が  
キミの誇れる  
「故郷」になる。



住まい価値創造企業  
**POLUS**  
ポラスグループ

ポラスの分譲 検索